

平成19年度 事務事業評価表		担当	教育委員会 学校教育課			内線等	1603
事務事業名	外国語教育推進事業				事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)	
根拠法令等	学習指導要領、G A E T 派遣事業概要等				Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育
------	---------------------	-----	------

事務事業の内容

対象(受益者)	市内小学校(3~6年)児童・中学校(2年)生徒に対して
手 段	外国人英語指導助手(G A E T)を学校に派遣し、英語の授業を行うことにより、
想定する成果	小学校では、国際性豊かな児童を育成するとともに、教員の国際理解教育の研修の場とすることができる。中学校では、日常的な会話や簡単な情報の交換ができるような基礎的・実践的なコミュニケーション能力を身につけることができる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
2人のG A E Tが小学校で行う授業時間数	461時間	474時間	406時間
2人のG A E Tが中学校で行う授業日数	254日	249日	256日

成果指標

成果指標名	年間時間数	年間時間数
成果指標の説明	1人の小学生(3~6年)が、G A E Tから英語の事業を受けられる年間時間数	1人の中学生(2年)が、G A E Tから英語の授業を受けられる年間時間数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		4時間				4時間				4時間			
成果指標		18時間				18時間				20時間			
事業費	事業費	8,000				8,000				8,000			
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤	
	合計	9,557				9,562				9,569			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	9,557				9,562				9,569			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	来年度小学校英語教育導入に向け、カリキュラム作成中。
経済効率性	3	3	3	3	コストパフォーマンスは、非常に高い。
事務効率性	3	3	2	3	計画的に効率よく使われている。
必要性	3	3	3	3	小学校への英語教育が導入されるため、さらに国際的なコミュニケーション能力を身につけるためにも、とても必要である。
小計	11	11	10	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	小学校への英語教育が導入されるため、今後ますます必要になってくる。
合計	14	11	13	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	A	小学校への英語教育が導入されるため、G A E T 2人では不足である。2人以上の増員が必要である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
小学校への英語教育導入を視野に、小学校のカリキュラムづくりが必要である。
上記改善点の実施状況
来年度からの小学校英語導入に向け、カリキュラム作成中である。

今後さらに改善すべき点

G A E T の増員

平成21年度予算に反映する項目

G A E T の増員

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

